様式第３号（第４条関係）

第　４２６　号
令和６年１月２９日

丹波篠山市教育長　様

丹波篠山市立大山小学校長　山本　真

学校運営協議会について、次のとおり報告いたします。

第 3 回　大山小学校運営協議会実施報告書

1　学校運営協議会の開催について
（1）開催日時　　令和６年１月２５日(木) １４時３０分～１５時４０分
（2）開催場所　　大山小学校　ふれあい館

2　出席した学校運営協議会委員の氏名・所属等及び出席状況

氏　　名	所属等	出欠	氏　　名	所属等	出欠
上野　浩司	大山郷づくり協議会会長	○	林　謙一郎	幼小ＰＴＡ会長	×仕事都合
平野　恵子	学職経験者	○	山本　　真	大山小学校　校長	○
岡田　康則	大山地区自治会長会代表	○	竹山　智保	大山小学校　教頭	○
伊勢　隆雄	大山振興会理事長	○	平野　京子	大山小学校主幹教諭	○
西垣　重夫	地域コーディネーター	○	三宅　　遼	大山小学校　教諭	×休暇
片岡　正子	大山愛育班代表	○	高藤　奈美	大山小学校　主査	○
齋藤とし子	民生委員児童委員	×仕事都合			

3　傍聴人数（０）人

4　議題及び会議の公開又は非公開の別（協議事項毎に公開及び非公開の別を記入すること）
主な協議事項及び主な意見内容（審議の概要）
（1）協議事項（公開）
①本年度の教育活動について　（公開）　②創立150周年記念事業について（公開）
③学校評価の報告と今後の方向性（公開）　④学校運営上の諸課題（複式学級等）（公開）
⑤今後の予定（公開）

（2）主な意見内容
・大山ではないが、放課後児童クラブでいじめなどの対応で課題があると聞いたことがある。学校と放課後児童クラブとの連携を大切にしていく必要がある。
・コロナ禍で地域の行事が減ってきていたが、自治会と子どもたちの交流に前向きに取り組み、さらに地域連携できるようにしていきたい。
・ジェンダーの学習に取り組むなど、人権学習の変化を感じている。忙しい中で教職員が現代課題に取り組んでいる様子がうかがえる。10%ほどの子が集団の中で学ぶことに課題があるといわれているので、そういったことへも取り組みも大切である。
・児童アンケートでは学年が上がるにつれて肯定的な評価が下がる。自我の芽生えとも関係すると思われるが、「できなかった」と回答している児童には特に気にかける必要がある。子どもたちと一緒に活動する機会があったが、先生たちの大変さも理解できる。
・大山小の強みは、子どもたちが地域の行事に参加したり、地域の方との交流をしたりできることであり、今後もそういった良さを生かしていけるように取り組んでいきたい。
・いじめは将来、楽しかった思い出より心の傷として残ってしまう。きめ細やかな対応が大切である。
・学校のプール施設を今後どうしていくべきかを考えていく必要がある。

5　会議資料の名称
・第３回学校運営協議会レジュメ
・本年度の教育活動について（スクールプラン、計画書、生活アンケート、創立150周年記念事業）
・学校評価資料（前期・後期学校評価、保護者・児童アンケート結果）

6　今後の予定及び方向性
・次年度は、幼稚園と一緒に、大山幼・小学校運営協議会として活動をすすめていく。
・学校運営協議会の組織を再度整理し、地域の方の参画や協力を得て、今後もふるさとキャリア教育を充実や地域ぐるみで子どもたちの教育に関わる活動を目指していく

7　次回開催予定
(1) 開催日時　　令和６年５月中旬の予定　（変更の場合有り）
(2) 開催場所　　大山小学校　ふれあい館等